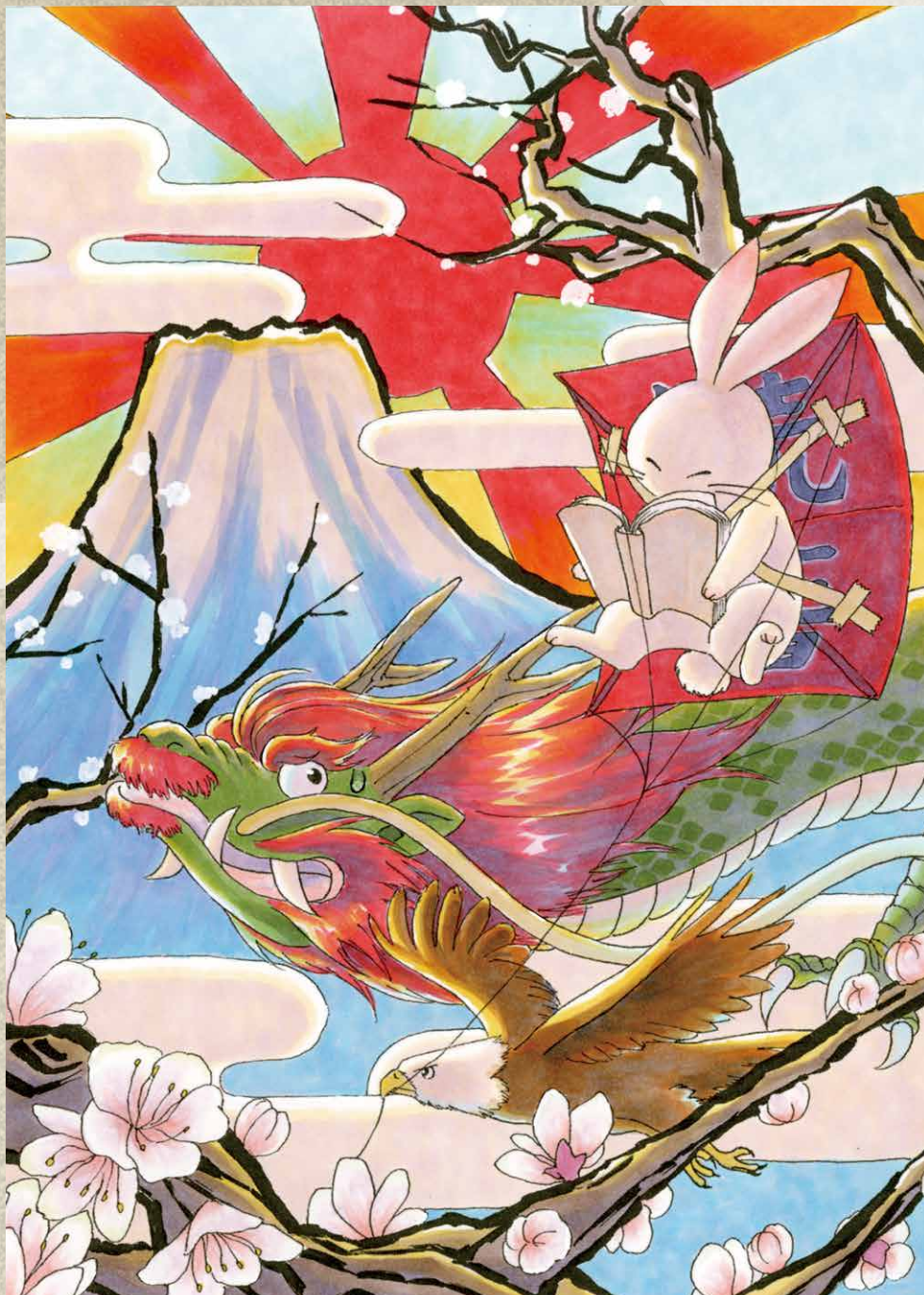




目
次

- 02-03 貸出数ランキング (全体、学科別)
- 04-05 **特集** 季節(冬)に合った本
- 06 第5回図書館ポスターコンクール
- 07 ブックハンティング
- 08 ひととき 藤林先生

貸出
冊数
宇部高専図書館

ランキング

宇部高専図書館は学生、教職員はもちろん一般の方にも開放しています。

所蔵している本は13万冊を超えており、各学科の専門書、一般教養に関する本、ベストセラーや文学賞受賞作品など幅広いジャンルの本を取り揃えています。

今回は10/1～1/31までに貸し出しされた本を全体、学科別で集計し、今、どんな本が多く借りられているのか調査しました。



全 体 貸出冊数：1543 冊

貸出回数
24 回

Rank
1

『公式 TOEIC listening & reading 問題集』

Educational Testing Service / 国際ビジネスコミュニケーション協会 (※シリーズ累計)

- 2 『汝、星のごとく』 風良ゆう著 / 講談社 / 7回
- 2 『変な絵』 雨穴 / 双葉社 / 7回
- 4 『あなたが誰かを殺した』 東野圭吾 / 講談社 / 6回
- 4 『化学工学の基礎』 鈴木善孝 / 東京電機大学出版局 / 6回
- 4 『飛鳥・奈良時代』 吉田 孝 / 岩波書店 / 6回

- 7 『テスカトリポカ』 佐藤 究 / KADOKAWA / 5回
- 7 『ハンチバック』 市川沙央 / 文藝春秋 / 5回
- 9 『十戒』 夕木春央 / 講談社 / 4回
- 9 『図書館のお夜食』 原田ひ香 / ポプラ社 / 4回

その他、貸出4回多数

機械工学科 貸出冊数：141 冊

貸出回数
11 回

Rank
1

『公式 TOEIC listening & reading 問題集』

Educational Testing Service / 国際ビジネスコミュニケーション協会 (※シリーズ累計)

- 2 『Python プログラミング完全入門：ノンプログラマーのための実務効率化テキスト』 高橋宣成 / 技術評論社 / 2回
- 2 『演習工業力学』 一柳信彦、高久和彦 / 東京電機大学出版局 / 2回
- 2 『基礎から学ぶ工業熱力学』 佐野正利、杉山均、永橋優純 / コロナ社 / 2回

- 2 『基礎物理化学』 渡辺啓、岩澤康裕 / 裳華房 / 2回
- 2 『必携「からくり設計」メカニズム定石集：ゼロからはじめる簡易自動化』 熊谷英樹 / 日刊工業新聞社 / 2回
- 2 『Python 入門：2&3 対応』 エスキュービズム ほか秀和システム / 2回

電気工学科 貸出冊数：94 冊

貸出回数
4 回

貸出回数
4 回

Rank
1

『新装版 線形代数学』

川久保勝夫 / 日本評論社

- 3 『イオン液体：常識を覆す不思議な塩』 北爪智哉 ほか / コロナ社 / 3回
- 3 『ナノテクノロジーのための走査電子顕微鏡』 日本表面科学会編 / 丸善 / 3回
- 3 『自動車のしくみパーフェクト事典：知っておきたい基本構造から最新技術まで』 古川修監修 / ナツメ社 / 3回

Rank
1

『線形代数：明解演習』

小寺平治 / 共立出版

- 3 『微分積分』 和達三樹 / 岩波書店 / 3回
- 7 『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾 / KADOKAWA / 2回

その他、貸出 2 回多数



制御情報工学科 貸出冊数：219 冊

貸出回数
5回

Rank
1

『公式 TOEIC listening & reading 問題集』

Educational Testing Service / 国際ビジネスコミュニケーション協会 (※シリーズ累計)

- 2 『やさしい C#』 高橋麻奈 / ソフトバンククリエイティブ / 4回
- 3 『退屈なことは Python にやらせよう：ノンプロ
グラマーにもできる自動化処理プログラミング』
Al Sweigart 著・相川愛三 訳 / オライリー・ジャパン / 3回
- 3 『また、同じ夢を見ていた』 住野よる / 双葉社 / 3回
- 3 『新装改訂版 十角館の殺人』 綾辻行人 / 講談社 / 3回

- 6 『第2版 C# の絵本 :C# が楽しくなる
新しい9つの扉』 アンク / 翔泳社 / 2回
 - 6 『I の悲劇』 米澤穂信 / 文藝春秋 / 2回
 - 6 『マンガでわかるフーリエ解析』
渋谷道雄 著, 晴瀬ひろき 作画 / オーム社 / 2回
- その他、貸出 2 回多数

物質工学科 貸出冊数：341 冊

貸出回数
4回

Rank
1

『化学工学の基礎』

鈴木善孝 / 東京電機大学出版局



- 2 『機器分析』 大谷肇 編 著, 梅村知也 ほか / 講談社 / 3回
- 2 『若手研究者のための機器分析ラボガイド』
澤田清 編 / 講談社 / 3回
- 2 『台湾のアイデンティティ：「中国」との
相克の戦後史』 家永真幸 / 文藝春秋 / 3回

- 2 『基本操作』 井口洋夫 ほか 編集 / 丸善 / 3回
 - 6 『# 真相をお話しします』 結城真一郎 / 新潮社 / 2回
 - 6 『ガスクロマトグラフィー』 雨宮良三 / 共立出版 / 2回
- その他、貸出 2 回多数

経営情報学科 貸出冊数：210 冊

貸出回数
5回

Rank
1

『公式 TOEIC listening & reading 問題集』

Educational Testing Service / 国際ビジネスコミュニケーション協会 (※シリーズ累計)

- 2 『汝、星のごとく』 風良ゆう / 講談社 / 3回
- 2 『隣の家の少女』
ジャック・ケッチャム 著, 金子浩 訳 / 扶桑社 / 3回
- 2 『第9版 (Ver.8.0) 合格テキスト日商簿記
2級工業簿記』 TAC 簿記検定講座 編著 / TAC 出版 / 3回
- 2 『第17版 (Ver.14.0) 合格テキスト日商簿記
2級商業簿記』 TAC 簿記検定講座 編著 / TAC 出版 / 3回

- 2 『第9版 (Ver.8.0) 合格トレーニング日商簿記
2級工業簿記』 TAC 簿記検定講座 編著 / TAC 出版 / 3回
 - 7 『あなたが誰かを殺した』 東野圭吾 / 講談社 / 2回
- その他、貸出 2 回多数



TOEIC 強し！勉強の合間に小説なども読んでみて！

全体的に TOEIC や専門分野などの資格取得に関する貸出が多く、実用的な目的で借りる人が多いようです。学科別ではそれぞれの学科ならではの本が多く貸し出されていました。TOEIC の問題集については、複数学科共通で多く貸し出されていることがわかりました。

図書館には資格取得に関する本だけでなく、小

説や料理本などもたくさんあります。たまには心地よい空間でリラックスして本を読んでもいいのではないでしょうか？

図書館ボランティアの学生がブックハンティングで選んだ本の特設コーナーもあるので、ぜひ図書館に足を運んでみてください。リクエストも受け付けています！

担当：岩崎千菜美（経営情報学科3年）、永安彩星、長谷川遼（ともに経営情報学科1年）

特集

季節に合った冬本

制御情報工学科 4年
佐川 はるか



時給三〇〇円の死神／藤まる

寒い季節に読みたくなる、愛と未練の物語。ある6月、高校生の佐倉は同級生の花森と“死神”のバイトを行うことになる。期間は半年、時給は300円、残業代も交通費もなく、時間帯に関わらずいつでも呼び出される。散々な条件の奇妙なバイトの内容は、「死者の未練を叶える」という常識外れのものだった。

死者は時折、自分の死がなかったことになっている世界線(ロスタイム)に閉じ込められる。ロスタイムから抜け出す条件は、死者の未練を果たすこと。死神の仕事はこのロスタイムに囚われた死者をサポートし、死者を成仏させること。そして、「半年間勤め上げれば、どんな願いもひとつだけ叶える《希望》を申請できる」。

どん底の人生を送っていた佐倉は、死神のバイトを通して様々な未練を抱える死者と向き合い、見送っていくことで自身のつらい過去を乗り越えていく。佐倉が過ごした半年間の心情の変化や、死者たちの未練からみえる様々な人たちの愛情の丁寧な描写に思わず胸が熱くなる感動作。

物質工学科 3年
藤井 一花



スキッピング・クリスマス／ジョン・グリシャム

会計士の主人公であるルーサーは、クリスマスにかかる費用の総額を計算し、愕然とする。毎年クリスマスのために大金をドブに捨てていると感じた彼は、妻とともにクリスマスのボイコットを決意。ところが、『理想のクリスマス』を盲信する町の人たちはそれを許さない。彼の行動は大きな波紋になり、てんやわんやの大騒動に発展していく。「クリスマスですっばかすだけでそんなに責められるのか？」と思われるかもしれないが、日本に当てはめると「正月や盆をボイコットするぞ!」と言っているようなものだ。

本作はドタバタコメディである一方、行事の意味や近所づきあいについても考えさせられる作品である。しかし、後味は悪くなく、ほっこりとした気分で読み終わることができる。



経営情報学科 3年
岩崎 千菜美



クリスマス・ボックス／リチャード・ポール・エヴァンズ(訳者:笹野洋子)

新聞広告を目にして、一家は老婦人の住む館へ移り住みます。すぐに打ち解け、その関係はまるで「家族」のようになります。クリスマスが近づく中、仕事に追われて娘との時間をなかなか取ることができない「わたし」に、老婦人は苦言を呈します。老婦人が「わたし」に伝えたい思いとは一体何でしょうか。

「この世で最初のクリスマスの贈り物は何だったか、考えたことある？」これは老婦人が「わたし」に投げかけた質問です。あなたのクリスマスの最初の贈り物は何だったのでしょうか。何かのおもちゃでしょうか。それとも覚えていない、わからないと答えるのでしょうか。「わたし」のつけたクリスマス・ボックスには、その質問の答えが入っています。それはきっとあなたにとっても素敵なものであるはずです。

著者の実話をもとにしたこの本は、クリスマスプレゼントに豪華な食事と、家族で過ごす溢れるほどのあたたかくて幸せなクリスマスの空間、12月の凍えるような寒さや冷たさをほんの少し感じる一冊となっています。続編と共にぜひ読んでみてください。

電気工学科 2年
山本 健一郎



雪と氷の疑問 60 (みんなが知りたいシリーズ2)

／高橋 修平・渡辺 興亜

寒さに凍えるこの季節、皆さんも通学途中などで雪を見かけることがあるかもしれません。さて、雪を見ていて疑問に思ったことはないでしょうか。例えば「氷は透明なのに雪が白く見えるのはなぜか」や「雪の結晶はなぜ六角形なのか」「氷で滑るのはなぜか」など。これらの様々疑問に対し、わかりやすく答えてくれるのがこの本です。

その他にも、雪にまつわる話や普通は行けない南極・北極の話などがあります。例えば「雪が多い年は本当に豊作になるのか」や「北極海航路とはなにか」など、雪以外の話も多くあります。中には「-180℃の土星の衛星に雪が降る」というような宇宙と雪にまつわる話まで書かれています。

これらの身近な自然現象から様々な事柄まで、新たな知見を広めることができる当書を、この時期に是非手にとってみてはいかがでしょうか。

経営情報学科 2年
吉永 瑛紀



理想の自分、自分の強みを見つけて生まれ変わる!

魔法の質問見るだけノート／マツダミヒロ

タイトルにもある通りこの本は「自分の強み」が見つからない、何かにチャレンジしたいけど、何がしたいか分からないといったモヤモヤの解決をテーマにした本です。「好きなことにはどんなパリエーションがありますか?」「どんな既成概念を壊しますか?」「克服しなくてもいいあなたの弱点は何ですか?」などといった質問を自分自身ですることで、理想の自分に近づく方法が書かれています。冬の季節、クリスマスが過ぎ2023年から2024年へと変わりました。新しい年になり今年の目標を立てる、新たにやりたことに挑戦する、といった方は多いかと思います。ただ、一方で「やりたいことないなあ」「イマイチ自分にあった目標が見つからない」といった方もいるかもしれません。何かを始める前の足掛かりとして、一度この本を読んでみてはいかがでしょうか? また、普段こういったジャンルの本に触れない方にも読みやすく、おすすめできる一冊です。

第5回 図書館ポスターコンクール

読書の楽しさや本を読んだ感想をポスターにして気持ちを伝えることをテーマに毎年行っており、今年は7作品の応募がありました。

応募者は1年生から専攻科生まで幅広く、手書きの力作が多い印象でした。

審査は図書館運営委員会委員と図書館学生ボランティアの投票によって行われ、優秀賞は4作品が同票となり再審査も行われました。

受賞者の喜びの声をお届けします。

結 果

最優秀賞：「無限大」 藤本彩来(物質工学科1年)

優 秀 賞：「ひらめきは無知からは生まれない」
藤本信義(生産システム工学専攻2年)

優 秀 賞：「本を閉じた。違う世界が見えた。」
川上日奈多(物質工学科3年)

佳 作：4名

※受賞者には、宇部高専後援会から賞品(図書カード)が授与されました。



本の無限大さをイメージして描いたので、このポスターが本に親しみかけにできれば良いなと思います!

最優秀賞

「無限大」
藤本 彩来

本にはあなたの知らない知識が詰まっています。
図書館に来て先人たちの知恵を借りましょう!



優秀賞

「ひらめきは無知からは生まれない」
藤本 信義



優秀賞

「本を閉じた。違う世界が見えた。」
川上日奈多

読書を通して、ものごとの見方を増やしていけたらいいなと思いポスターを作成しました。

担当：藤村はる(制御情報工学科1年)

ブックハンティング

2023年11月26日(日)、福岡市天神の丸善ジュンク堂書店でブックハンティングを実施しました。今年度は、図書館学生ボランティアメンバー 11名が参加し、76冊の本を選びました。



集合写真

ブックハンティングとは?



図書館に置いてほしいと思う本、自分自身が手に取りたい本、他の学生に薦めたいと思う本を、学生が直接書店に行って選ぶ企画です。図書館や学生の読書への関心を高める目的で毎年実施しています。

ブックハンティング体験記

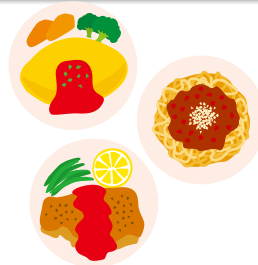
AM 8:30

学校に集合しバスに乗り込んで出発！途中、壇之浦PAで関門海峡の絶景を眺めました。



AM 11:00

ジュンク堂書店に到着、大きな書店の中から目的の本や好きな本を1万円以内で選びました。途中昼食をとったり、買い物をしたりと自由に過ごしました。



\到着! /



PM14:00

参加者で沢山の本を集めました。図書館に届くのが楽しみです。バスに乗り込み帰路につきました。



PM 16:30

楽しい時間を過ごして本校に到着。バスに揺られてほとんどの人が熟睡していました。



特集コーナーの様子

ひととき

物質工学科 藤林 将 先生

—— 学生にお勧めの本は何ですか？

普段本は読まないですが、飛行機に乗る時に本を読んでいます。そこでよく読むのは、探偵ガリレオシリーズです。シリーズが10種類ぐらいあって、それをよく読んでいます。物理学者の先生が事件を解決するストーリーで、わりと科学をやっている人には面白いと思います。

—— 先生の専門分野は何ですか？

専門分野は機能物性化学という分野です。化学と物理の融合みたいな感じです。固体の材料が電気や磁場とかに対してどういう応答を示すかを調べています。もう少し日常的な話をすると、不揮発性メモリの開発などです。これはフラッシュメモリやUSB、HD(ハードディスク)などに使われています。以前は不揮発性メモリを作製し、特性を調べることを主にやっていました。

—— なぜその分野を学ぶことにしたのですか？

私は有機化学が苦手でしたが、大学の先生がチョコレート(チョコレート)の構造で味が違うという話をしてくれて、「構造が違ったら形も特性も変わるんだ」みたいなことから興味が出ました。また、綺麗な結晶構造を見るのが好きで、この分野を学ぶことにしました。「目に見えない世界で目には見えないものを解析すると、こんな綺麗な形をしてる」というところから少しずつはまっていきました。

—— 先生を目指したきっかけは何ですか？

元々小学生の頃から先生になりたいと思っていました。祖父が音楽の先生をやっていて、祖父に「お前も先生になってみたら」と言われたのがきっかけです。また、人前に立って何かをすることが多かったのもきっかけの一つです。大学生の頃に、研究室の後輩に教えるようになって、後輩が理解してくれた時に嬉しいと思いました。

—— 好きな食べ物は何ですか？

何でも好きです。死ぬ前に何を食べたいかと言われると、私は下関の出身なので瓦そばが食べたいです。

—— 行ってみたい国はどこですか？

多分10か国ぐらい海外に行っていますが、台湾に行きたいです。台湾にある『千と千尋の神隠し』のモデルとなったと言われている「九份(キウフン)」に行ってみたいです。また、中国語を勉強したい気持ちもあります。結構中国人の友達が多くて段差を



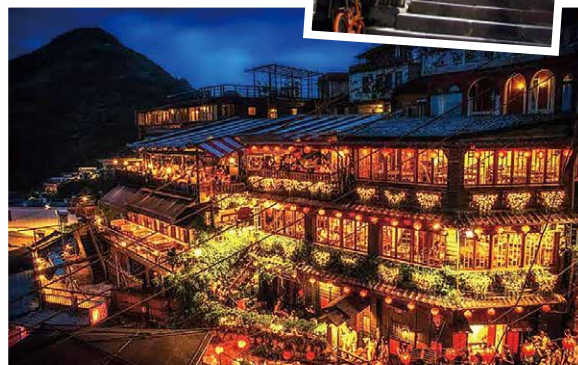
見つけた時に、「小心(シャオシン)」と言うと、受けてくれます。

—— 休日の過ごし方を教えてください。

最近寒くなったからやってないけど、キャンプが好きです。キャンプは友達とよく行きます。到着いってすぐビールを飲んだり、燻製をしたり、最近は「モルック」というゲームをしています。棒に数字が書いてあり、点数を決めて倒した本数で決めた点数になるように競うゲームです。他にも運転が好きでよくドライブに行きます。そんな感じで楽しく過ごしています。

—— 最後に学生に一言お願いします。

テストのための勉強はして欲しくないです。単位を取るのが大変な気持ちはとてもわかるけど、もしかしたらこの勉強をしておけば未来の自分に使えるかもとか、この考え方が共通して物事に使えるかもとか、化学の分野だけでなく、これらのことを意識して勉強に取り組んで欲しいです。あとは死ぬほど遊んだらいい。遊んでください。



取材・記事／小島萌百花、松岡茉優（ともに物質工学科4年）